

知的障害者更生施設の入園者を対象に、

## 恒例のマリンスポーツ体験会を実施

御荘町 B&G 海洋センター（愛媛県）



各地域海洋センターで、さまざまなマリンスポーツ体験会が開催されていますが、愛媛県の御荘B&G海洋センターでは、4年前から知的障害者更生施設「いちごの里」の入園者を対象にした海洋性レクリエーション体験会を実施しています。普段、あまりプールや海で遊ぶ機会がない入園者に、年に1度ぐらいいかに水に親んでもらおうと、同海洋センターが「いちごの里」に声を掛けて始められました。

「実施するにあたっては、休館日を利用して8名全員のスタッフを動員。施設側からも10名の職員がサポートにあたるなど、万全の体制を整えて入園者のみなさんを迎えています。今年の参加者は50名でしたから、実に2.5名に1名の割合でサポート役が付いた計算になります」

バナナボートなど動きのある乗り物は、サポート役がジェットスキーで並走しながら万が一に備え、バナナボートの最後尾にもサポート役を配置させたそうです。

「なんと言っても安全が第一です。体験会の前には、参加者全員にライフジャケット着用のうえで海に入ってもらい、水に慣れてから乗り物に乗ってもらうようにしています。ボートなどに乗って水をかぶったとき、こわがってパニックになってしまう場合もあるからです」



バナナボートは大人気。ゴーグルを持参した参加者もいました

しかし、そんな心配も今年は無用でした。参加した入園者のほとんどが、すでに3年続けて体験しているので、みんな水にはすっかり慣れていたので。それよりも、参加者全員が待ちに待ったイベントに大喜び。「これに乗りたい！」と自分からアピールする人も多く、その積極的な行動に、引率した「いちごの里」の職員もおどろいていました。

「確かに、このイベントは、終わった後にドッと疲れが出ますが、施設の職員のみならずと一緒に開く反省会兼懇談会は大いに盛り上がります」

現在、同海洋センターでは高齢者向けの「健康体操」にも力を入れており、さまざまな人たちへの利用を常に模索しています。また、御荘B&G海洋クラブの活動も活発で、今回の体験会でも人気が高かったバナナボートなどを駆使しながら、楽しめるクラブづくりに励んでいるそうです。